

矢小だより

第11号

令和5年7月11日
由利本荘市立矢島小学校

前期後半突入！

矢島小学校では1年間の前期、後期をそれぞれ2つの期に分け、年間4つの期で学習や生活に関わる目標を設定しています。また、期の切り替えのタイミングで委員会活動をもち、それまでの振り返りやこれからの計画を確認したり、全校集会を行ったりしています。Ⅱ期は夏の暑い期間ですが、暑さに負けることなく集中して頑張ってもらいたいと思います。



前期 後半（7～9月）の目標 Ⅱ期「主体的な関わり」

やさしい子	◆友達や自然に積極的にに関わり合い、よりよい生活や人間関係を築こうとする。 ◆家庭の生活や地域の活動に進んで関わり協力する。
しんぼう強い子	◆規則正しく生活をして、体を鍛える。 ◆自分の役割を果たそうとする。
すすんでまなぶ子	◆積極的に学習活動に参加し、自分の思いや考えを表現する。 ◆自分に合った学習の仕方を身に付ける。

救急救命講習会

6日(木)、矢島消防分署の方々に来ていただき、6年生で救急救命講習会を行いました。ビデオでの講習の後、子どもたち一人一人に準備された模擬装置を使って、心臓マッサージの体験でした。両手の当て方や角度、力の入れ方や数え



方などを個別に指導していただきながら習得することができました。いざという時の応急措置を小学生が行う場面はなかなかないとは思いますが、知識としてもっておくことは非常に大切です。命を大切にする意識を高める上でも効果的な教室となりました。



矢島小学校の七夕

本校では毎年、低・中・高学年ごとに願い事を書いた短冊を飾っています。今年も、全校児童の願いが書かれた短冊が飾られました。

七夕飾りは児童玄関に飾られていますので、機会がありましたら、是非ご覧ください。



PTAあいさつ運動



10日(月)、PTA校外指導部、少年保護育成委員会、由利本荘警察署の方々がお越しになり、今年度、第2回目の「PTAあいさつ運動」が行われました。梅雨の曇り空ではありましたが、子どもたちは、元気にあいさつをすることができました。



子どもたちの元気で明るいあいさつは、子どもたち自身に安心や安全をもたらすだけでなく、地域の活気にもつながるものです。今後とも、家庭・地域と協調した取組を目指していききたいと思います。

= 健康を考える移動保健教室 =

10日(月)、学校医の木村先生をお招きして、4年生を対象に移動保健教室を行いました。木村先生は、「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんちは、なぜ大切？」というテーマで、次のようなお話を医学的に説明してくださいました。



- 睡眠時に成長ホルモンが最も多く分泌されるので、子どもの成長には、夜、ぐっすり寝ることが大切である。
- 太陽光に含まれるブルーライトは、睡眠ホルモン（眠くなる物質）であるメラトニンの分泌を抑制する効果があるので、朝、太陽光を入れると目覚めがよくなる。
- スマホやタブレットなど、液晶画面から発せられるブルーライトを浴び続けると、メラトニンの分泌が抑制される状態が続くので、なかなか寝られなくなり、生活のリズムが崩れやすい。
- 朝ごはんをよく噛んで食べることで目覚めがよくなり、集中力も高まる。また、よく噛むことで消化器官の働きがよくなり排便も促され、さらに、交感神経と副交感神経、両方の働きが活発になり、パフォーマンスが高まる。

お礼

今年も、羽後信用金庫矢島支店さんの職員とOBの方々のご厚意で、「ひまわりフェスタ」の前に、ひまわり畑の草刈りをしていただきました。地域の方々のご協力あってこそこの「ひまわりプロジェクト」であることをあらためて感じました。心から感謝申し上げます。

